正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

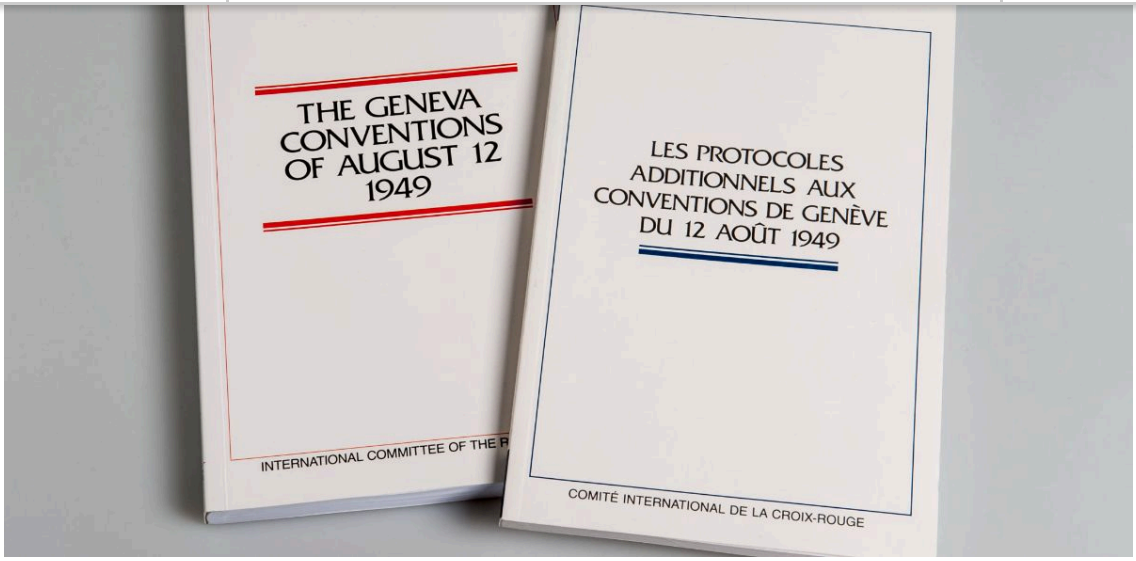
3月号 2024



武力紛争下では圧倒的な暴力により日常が破壊され、そこに住む人々は避難したり、家族や収入源を失うなど、苦しい生活を余儀なくされます。それが紛争が終結した後も続く場合もあります。私たちが現場で支援する女性たちは、そのような逆境の中でも前向きに生きています。

国際女性デー・意志のあるところに道は開ける

駐日代表部だより



国際人道法とは？

ニュースによく出てくる「国際人道法違反」って、具体的にどういうことでしょうか。民間人や病院、学校を攻撃してはいけないということだけではありません。負傷したり、敵の手に落ちた兵士を守ることも紛争当事者の義務です。私たちICRCの役割も、ジュネーブ諸条約の中に明記されているんですよ。

わかりやすい国際人道法

紛争の現場から



ICRC総裁：「人道的対応は、政治的解決策の欠如を補うものではない」

れたままの人質に思いを馳せて、「とても容認できない由々しき状況」と憂い、３つの緊急要請をおこないました。

ガザ・イスラエル情勢：３つの緊急要請明

また今月中旬には、政治家などが一堂に会した欧州人道フォーラムに出席し、「人道的対応は、政治的解決策の欠如を補うものでも、そこから目をそらすものでもない」と言及。赤十字の役割は、戦闘に巻き込まれ苦しんでいる人たちに寄り添い、命と尊厳を守ることで、戦争を終わらせたり、平和を構築することは国連や多国間の政治的話し合いで達成されます。

政治的解決が不可欠！



ロシア・ウクライナ：
紛争激化・拡大から２年

2024年のICRCの活動で最も資金を投じる人道危機が、ロシア・ウクライナ紛争です。赤十字運動のパートナーと共に、両国だけでなく、近隣諸国を含めた避難先で、1,160万人以上に支援をおこなっています。

過去２年間の活動実績

2024年の活動規模上位10か国・地域

世界のトレンド



自律型兵器から未来の世代を守るために

自分たちが創造した科学技術によって人類が滅ぼされる、というフィクション映画さながらの悲劇を現実にしないために、ICRCはさまざまな専門家と協議を続けています。AI技術を用いた自律型兵器の脅威から人類を守るための議論が大きく進展している一方で、自律型兵器技術の発展も同様に進んでいて、人間が操作・制御することなく自律的に攻撃する能力を持つ武装ドローンは既に存在します。

科学界や産業界とも連携して人類を守る！

動画：ロボットに民間人と戦闘員の区別がつくの？

日本人に知ってもらいたい！



コンゴ民主共和国で
何が起こっているのか？

なかなか世間の耳目が集まらないアフリカの人道危機。コンゴ民主共和国ではこのところ、急速に事態が悪化しています。

動画：現状を知るための４つのポイント



ジョージア：
30年ぶりに戻ってきた愛する人の遺骨を胸に

でしたが、どんな形であれ大切な人が戻ってきたくれたことで安堵し、待ち続ける不安な日々に終止符が打たれました。

「これからはお墓に行けばいつでも会える」



今年もやります！「人道援助コングレス東京」

参加申し込みはこちらから（国境なき医師団ウェブサイト）

その他のニュースはこちら

E-newsletter のアーカイブはこちら

© 2024 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。

